



▲服部幸應先生

恒例となりましたコヤマ交通教育「特別講演会」に、今年も多くの皆さまにご参加いただきました。今回のテーマは「食育」でした。

今年も全指連全国大会が、11月1日、東京九段会館で盛大に開催されました。当社では、その前日、服部栄養専門学校理事長・校長で、「料理の鉄人」のコメントーターとしてもおなじみの服部幸應氏を迎え、恒例の特別講演会(会場:スクワール麹町)を実施いたしました。この講演会では、調理師や栄養士を育てる専門学校の校長としてのお立場から、学校教育に関する理念や、近年テーマとされている「食育」についてお話いただきました。講演会には、全国から100名近くのご参加を頂き、皆さん熱心に聴講されていました。また、講演終了後は服部先生を囲み、賑やかな懇親会に席を移し、親睦を深めました。

## 「食育」とは？

(1)食物の危険性と安全性、どんなものを選んで食べるか (2)食事のマナー (3)食料問題・人口問題・エネルギー問題・農業問題・残飯のリサイクルを含めた環境問題、この3つを大きなテーマとしている。そして、「知育・徳育・体育」という日本の教育の3本柱にもう一本「食育」を加えて、心身に豊かな子供に育ててほしいというのが、服部先生の提言です。

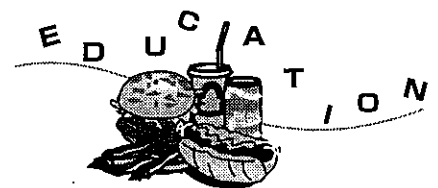


▲世界の食料事情から、人間教育まで熱弁される服部先生



## 「服部幸應先生の講演に参加して…」

■おなじ教育の立場から共感できました!



茨城県北自動車学校 代表取締役 豊田 睦美

私は平成13年9月から自動車学校の代表取締役に就任し、会社経営というものに始めて取り組みました。今年の9月で1年が過ぎ、少しずつですが経営のノウハウも自分なりに理解できるようになりました。今回、服部先生の講演会のテーマ「食を通じての人間教育・食育のすすめ」を聞いたとき、正直私は「食育とはなんだろう？食と教育の関係とは？」と思いました。しかし、講演の中で「食育」とは、食を通じて栄養の知識や環境問題を考え、心身を豊かに育むことであり、そして、なぜいま「食育」が大切なのか、すぐ「キレる子」の問題から食糧事情まで、具体的なデータに基づきお話頂きました。

講演を聞き終わり、改めて「食育」の大切さ、人

間教育の難しさを痛感いたしました。

服部先生は、日本だけでなく、世界中の国の教育を例に、食と教育の関係を説明され、他国に比べ日本もまた、「食」に関しては知識レベルがまだ低いのだと感じました。今後、「食」についての知識を勉強し、自分の仕事にも「食育」という事を生かしていきたいと思います。自動車学校もまさに人間教育の場であり、教育という部分では非常に深いつながりがあるように考えています。現在、少子化が進み、自動車学校業界も厳しい状況にはなっていますが、この貴重な経験を生かし、難しい状況に立ち向かっていこうと考えております。今回は本当に勉強になりました。大変有り難うございました。